

# 阪神地域 都市計画区域マスタープラン（概要）

## 目標年次

「ひょうごビジョン2050」の展望年次である令和32年（2050年）の都市の姿を展望しつつ、目標年次を令和12年（2030年）とする

## 地域の魅力・強み

- 充実した交通網
- 多彩な魅力をもつ「住みたい街」
- ベイエリアのポテンシャル
- 都市近郊農業
- 身近で豊かな自然環境

## 地域の課題

- 土地利用  
中心市街地の防災性向上、都市機能の更新等による活性化  
工場跡地の土地利用転換／オールドニュータウンの再生
- 交通インフラ  
阪神高速神戸線での慢性的な渋滞の発生
- 浸水・土砂災害のリスク  
河川や沿岸部での水害、六甲山麓等での土砂災害への対策

## 目指すべき都市構造

- 県全体の活力を牽引する地域として、民間投資の積極的な活用等により都市機能の充実・強化
- 利便性の高い公共交通ネットワークを生かし、近接する拠点間での相互補完も含めた都市機能の確保



## 区域区分の決定

都市計画区域	阪神間
区域区分の有無	有（線引き）

## 都市づくりの重点テーマ

- 市街地の整備と防災・減災対策の強化
- 大阪湾ベイエリアの活性化
- 住環境の高質化（子育て環境の充実）
- グリーンインフラを活用した都市の快適性・防災性の向上

## 都市づくりに関する方針

(1) 土地利用に関する方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 鉄道駅周辺での土地の高度利用や都市機能の強化</li> <li>➢ 住宅政策と連携した生活利便施設の適正配置による住宅地の魅力向上</li> <li>➢ 臨海部の工場集積地や内陸部のIC周辺等での産業拠点の形成 〔オールドニュータウンの再生／大規模集客施設の適正立地／大阪湾ベイエリアの活性化／市街化調整区域での地区計画等の活用〕</li> </ul>
(2) 都市施設に関する方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 名神湾岸連絡線の早期完成等による交通ネットワークの充実、(都)尼崎宝塚線の整備等による安全で円滑な道路環境の確保</li> <li>➢ 六甲山系、北摂山系等の都市近郊に残る自然環境や風致の保全</li> <li>➢ 猪名川や武庫川等の計画的な整備による河川環境の保全 〔国道43号の沿道環境の改善／尼崎の森中央緑地や有馬富士公園等での交流促進〕</li> </ul>
(3) 市街地整備に関する方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 民間投資の適切な誘導による都市の競争力強化</li> <li>➢ 公民連携でビジョンを共有し、多様な取組の展開により、既成市街地の持続的な更新と価値向上 〔JR西宮駅周辺等の再整備を推進、阪急神戸線の武庫川橋梁新駅周辺の交通利便性向上〕</li> </ul>
(4) 防災に関する方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 緊急輸送道路の整備や橋梁の耐震化等による緊急輸送体制の確保</li> <li>➢ 建築物の耐震化・不燃化、上下水道等のライフラインの耐震化を推進 〔総合治水条例に基づく治水対策／六甲山系グリーンベルト整備事業等の促進／災害レッドゾーンでの市街化の抑制〕</li> </ul>
(5) 環境共生に関する方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ コンパクトな都市構造、物流のモーダルシフト等による脱炭素化の推進</li> <li>➢ 都市の公園や緑地など多様な緑の保全、生産緑地地区等による農地の保全</li> <li>➢ グリーンインフラとして多様な自然環境のネットワークを形成 〔武庫川水系や六甲・北摂山系など水と緑のネットワーク〕</li> </ul>
(6) 景観形成に関する方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 黒川地区の里山等の恵まれた自然景観の保全</li> <li>➢ 旧伊丹郷町の城下町等の歴史的まちなみ、関西学院周辺等の眺望景観等の個性ある景観を保全・形成</li> </ul>
(7) 地域の活性化に関する方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 阪神間モダンイズム（市民文化）や中山寺本堂等の日本遺産を生かした都市型観光の促進</li> <li>➢ 都市に近い豊かな自然環境を生かした多様なライフスタイルが実現できるまちづくりを推進</li> </ul>

## 対象区域

阪神間都市計画区域  
(尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町)

